

2012年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2012年8月5日

発行人 日本基督教団 関東教区
埼玉地区委員会
委員長 土橋 誠
飯能市柳町 23-8

http://www.5b.biglobe.ne.jp/~saitama/
印刷所 (株)シャローム印刷

埼玉地区総会報告

秩父教会 都築 英夫

二〇一二年年度の埼玉地区総会は、三月二〇日(祝・火)に大宮教会を会場として開催されました。

開会礼拝は、深谷西島教会の竹内紹一郎牧師が「フレモンへの手紙一節〜二十五節から、「役立つ」と題して御言葉を取り次いでくださいました。

地区総会の議長は土橋誠牧師(飯能・地区委員長)が担当されました。冒頭の組織会で正議員一三五名のうち九十六名の出席を確認し、総会の成立が宣言されました。続いて関東教区からの問安使として、飯塚拓也副議長、熊江秀一宣教部委員長のお二人が紹介され、ご挨拶を受けました。

飯執行順序の承認に際して、地区委員の半数改選選挙を他の議案審議と平行して行うことが可決されました。

以下、当日の決議事項を箇条書きで記します。

(1) 二〇一一年度諸報告、二〇一一年度会計決算及び会計監査報告はそれぞれ承認されました。

(2) 地区委員選挙(半数改選) 教師 山田称子(浦和別所・再)、

金田佐久子(西川口・新)、都築英夫(秩父・再)

信徒 小岩晃(上尾合同・新)、結城恭子(大宮・再)

(3) 二〇一二年年度の宣教活動計画【主題について】

主題「主にある交わりを深めよう」 二〇一一年度の地区主題、聖句を

二〇一二年度も継続いたします。地区規則第二条に「この地区は日本基督教団の教憲、教規および同教団の規則、関東教区の規則の定めるところに従って、地区内諸教会の一致と連帯の強化に努め、福音の前進に仕えることの目的を達成する」とあります。このことのために、地区内の五十九教会・伝道所とそこに連なる人々が地区委員会・各委員会・各部などの行うプログラムを通して交わりを深め、宣教の使命に共に生きていくことを確認しました。

【活動について】

二〇一二年度は「地区教会全体修養会」の準備の年です。

①各委員会、各部の働きを押し進め、支援いたします。

②地区は、各個教会・伝道所と共に悩みや喜びを分かち合います。

③三区に分かれて「新年合同礼拝」を行います。

④日本基督教団東日本大震災救援募金に協力します。

(4) 二〇一二年地区一般会計予算 一般会計は、過去二年間で十五%減額してきましたが、活動費軽減の限度になり、想定外の活動に対応する予備費がとれなくなっています。そのため、今年度は収入を前年度より六%増額しました。これに伴って地区分担金が算出されています。

(5) 地区委員会に一任された議案

- ・地区会計監査委員選出の件
- ・地区総会議事録確認に関する件
- ・次回地区総会会場及び日程の件

今年度の地区総会も東日本大震災のことを強く意識した総会でした。



にね

天使に出
会ったことが
ありますか？

旧約でも新約でも、聖書では大事な場面で、天使が登場する。アブラハムには御使いが、ロトの救出時や、モリヤの山で息子イサクの救いに間に合うように、現れている。

ペトロを牢から、パウロたちを難破船から救出したのも天使だ。その他、神は沢山の天使たちを、人間の生活に介入させるために遣わすのだ。

先日、天使に出会った。それは幼稚園の子どもの姿だった。わたしが急ぎで出かけようとして玄関に行くとき、その子はやってきて、「先生、どこ行くの?」とたずねた。「東京だよ」と言うと、「何に乗って行くの?」と。普段はおよそ声を交わすことのない子が、声をかけている。「オートバイで」と答えると、「車の方がいいよ」と言ってくれた。「余計なお世話」とケチをつけず、「ありがとう、そうするよ」と言っ、車に変更し、無事に往復することができた。

翌日から、いつもと同じ、何も声かけはしてこないが、天使に会えてうれしかった。

(中村)



また、各委員会の開催する集會でも震災にかかわる事柄がテーマとなったことを覚えまして。

特に地区の働きとして、被災地へのボランティア派遣、中古衣料を持参しての大船渡、石巻でのバザーなどを行いました。このことも埼玉地区の諸教会・伝道所の祈りの支えがあったからこそできたことです。

二〇一二年度の地区の諸活動もこの「東日本大震災」を意識した活動が予定されています。主の体を建てるため、埼玉地区の働きがさらに生き生きとしたものとなるように、祈りを積み上げて参りたいと願っています。

出席された皆様のご協力のもと、予定より大幅に時間の短縮が出来ました。会場となった大宮教会の皆様にも、深く感謝致します。

(地区委員)

地区委員長挨拶

挨拶とお願い

地区委員長 土橋 誠



地区委員長として三年目を迎えました

(前任者の残任期間一年を入れて)。地区の活動を下さっている各委員会・各部の委員の皆様、地区委員の皆様、そして教会・伝道所の皆様に助けられてその間を過ごすことが出来ました。感謝です。

二〇一二年度が始まりました。また新しい思いをもって地区委員長の務めを担っていきたく思っています。

地区の働きは何と言っても教会・伝道所の良き交わりが形成され、各教会・伝道所の宣教が進められることです。

このために今年度の地区宣教活動計画の主題も「主にある交わりを深めよう」になっています。この主題は前年度と同じですが、「今」という時

において埼玉地区としてもう一度深くとらえ直し、考えることをしていかなければならないのではないのでしょうか。各教会・伝道所においても、そして地区の各委員会・各部においてもそのことをお願いしたいと存じます。

埼玉地区の今年度の予算は前年度繰越金六十三万三千元を除くと、収入は三百七十七万五千元であるのに対し、支出は四百四十八万八千元と赤字会計になっています。今年度は繰越金によって前年度並みの支出が出来ますが、二〇一三年度は現状のまま計画した場合、会計が破綻してしまいます。地区分担金を増額するか、あるいは各委員会・各部の予算を減額するか、伝道会計などの特別会計から一般会計に繰り入れするかを今年度中に判断しなければなりません。

いろいろな考え方があろうと思えます。皆様の考えを地区委員にお伝えくださればと願います。

先日、地区委員会に久しぶりに出席し、まことにこまやかに地区内教会や教師のために心を配って活動がなされていると改めて感じました。わたしも自分の賜物を生かして、お返ししていきます。

新地区委員紹介

西川口教会 金田佐久子



数年ぶりに地区委員に選ばれ、この度、来年夏に開催

する埼玉地区教会全体修養会の担当となりました。その他に地区の働きとしては、地区ホームページ委員会の書記をします。よろしくお願い申し上げます。

「従順」という賜物

秩父教会 都築 英夫



「あなたがたの従順は皆に知られています。だから、

わたしはあなたがたのことを喜んでいきます。なおその上、善にさとく、悪には疎くあることを望みます。(ローマ十六・十九)」

地区委員として二年のご奉仕をさせていただきました。地区委員の働きからいただく恵みとは何か。それは埼玉地区の諸教会と共に歩むことを実感できることにあると思います。

では、信仰を持って歩む時に大切なのは何か。それは主イエス・キリストに「従順」であるかどうかということでしょう。自らに信仰があるかどうかは、主イエスへの従順があるかどうかによって計られるのです。

これからの地区委員としての歩みに、主イエスへの従順があるかどうか吟味しつつ、地区の諸教会と共に歩んでまいりたいと思います。

連続二期目の

地区委員として

浦和別所教会 山田 称子



埼玉地区に赴任して、三期目の地区委員を担わせて頂きます。埼玉で生まれ、埼玉で育ち、埼玉の教会に遣わされて、現在二十六年目を迎えています。

地区委員に選ばれて

上尾合同教会 小岩 晃



この度の総会で地区委員に選ばれ、壮年部とアーモンドの会を担当することになりました。

地区委員に選ばれて

大宮教会 結城 恭子



二〇一一年度は東日本大震災に明け暮れました。大宮教会に山と積まれた各教会から送られてきた衣料品。一〇〇名を超える奉仕者による仕分け。そして被災一カ月後の大船渡教会へ。埼玉地区の協力の姿を目の当たりにしました。

埼玉での在職年数は、だいぶ経ち、埼玉地区内五十九諸教会・伝道所を覚え折りつつあります。しかし、広い県内にある諸教会・伝道所の建てられていく地域を踏まえつつ、各教会を知ることがなかなか出来ない状況です。

今、国内の企業では東日本大震災、原発事故の影響を受け、円高など先行き不安要素が拭えず、人件費削減もあって就職出来ない人達、また働き盛りの中には心を病む者が増えてきました。その人達に対応する医療機関の専門医は限られていて充分カバーしきれれていないのが現状です。

二年間、主の御守りと皆様のお祈りに支えられ、何とか任期を終えることができました。感謝いたします。最初に担当した婦人部の陪席では、教会における婦人の働きを、そして昨年度から地区会計を担当し、各教会が相互に担い合い（分担金、地区の諸活動が進められていることを改めて思われました。

地区委員の時には、多少知ることは多くなりますが、「まだまだだ!!」と思わされます。教会に遣わされた先生方とも、十分に存じ上げるといふことも、難しさを感じているのですから、信徒の方との出会いはもっとと少ない状態です。

それを補えないにしても、その課題の一端でも教会が担っていけないだろうかと考えます。多くの問題に対して地区の各教会が協力し合い、与えられた使命を果たしていかねばなりません。

教会員の高齢化、青年層が少ない、信仰の継承…等、各教会にはそれぞれの課題があります。一つの教会だけでは解決できない諸問題を、地区の教会が担い合い、祈り合うのです。

来年に予定されている第四十一回教会全体修養会では、教会全体修養会委員としては、二回目となります。同じ信仰を告白する地区内の兄弟姉妹との出会いの場としたいです。ご参加を是非お待ちしております。

微力ですが地区の働きの中でまず、与えられた任務を果たしていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

この度再任され、これから二年間、地区の働きに任せさせていただきます。よろしくお願いいたします。

新任教師紹介

三芳教会 江田めぐみ



神に捉われ還暦を迎えてから、東京神学大学での四年間の学びを終え、神の不思議な導きを通して、こうして担任教師として三芳教会へ遣わされたことは、聖書の御言葉のよう

に、「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる」(ヨハネの手紙I 五・十四) ことなのです。 私の母は、九十五歳まで、現役の幼稚園園長でした。その母が、昨年の十二月から体調を崩し入院を繰り返している時には、私が園長代理をし、神学校の勉強と共に頑張ったのは、神の見守りがあったからです。高齢の母は、何回も死の淵を通りながらも、私が学校を卒業するのを待っていてくれて、五月に天に召されました。入院中母をお見舞いに来られた人は、「慰めに来たのに逆に慰められて帰ります」と言っています。 幼児教育に伝道に生きた母から、実践して教えられたこと

「自己紹介」

東所沢教会 指方 周平



埼玉地区の皆様初めまして。今年度より

東所沢教会に赴任しました指方周平と申します。教団の教師になって十一年。昨年度は牧会を退いて無任所教師として過ごしました。折れやすい自分を日々思い知らされながらも、牧師という生き方を諦めることができずでした。 今回の復帰に際しては、再び任地が与えられて御用に用いられる喜びだけではなく、自分にできるだろうかという不安や恐れも心を覆っています。弱さの中でこそ十分に発揮される十字架の主イエスの恵みを噛み締めながら、東所沢教会の兄弟姉妹たちと共に、自分たちでなければ伝えることのできない人々に、主イエスの平安を伝えていきたいと願っています。どうぞよろしく願います。

が沢山ありました。これから喜びを持って母に負けないように、伝道に励んでいきたいと思っております。

鴻巣教会へ

鴻巣教会 塚本 洋子



四月に鴻巣教会に着任しました。昨年一年は、東松山教

会で代務者石橋秀雄牧師と共に伝道牧会をさせて頂きました。恵まれたのは、基本は優しいけれど決して甘くはない先輩牧師の下で、改めて牧会者として鍛えられたことです。そして鴻巣教会への招聘の話が浮上した折は、石橋牧師の最初の赴任地であったことから「自分は一切係わらない」との宣言を受けました。

鴻巣教会は、東松山から車で約三十分の距離です。引越する折は、近くて時間も経費も助かりました。

埼玉地区内の最寄り二区から三区への転任となりましたので、引き続き主に在るお交わりを宜しくお願い致します。

そして加えてご案内します。鴻巣教会は付属英和幼稚園を併設しています。お近くの方お子さま、お孫さまのご入園をお待ちしております。

東松山教会 野村 忠規



西の松山から東の松山に参りました野村忠規です。よ

ろしくお願い致します。神学校を卒業後、東京の教会で二年。山形の教会で九年（保育園あり）。宮城の教会で十年（幼稚園あり）。愛媛の教会で二十五年。そして、隠退し、娘たちの近くへと思っておりました時、東松山教会からのお話があり、単純に主のご命令だと受け止めてやって参りました。

美しい礼拝堂、住みやすい牧師館、庭も広く、朝はうぐいす、昼は前の中学校の子たちの声、夜は星が美しく瞬きます。

今日までの教会形成のために労苦された先生がた、信徒の皆さんの歩みを思い、地域の先生がたの応援に感謝しつつ、御言葉と共に働く聖霊のお力を信じて、歩んで参りたいと思えます。

趣味は落語、イラスト書き。連れ合いは、草取りと花植えを楽しんでいます。

新しい地で

加須教会 舟生 康雄



埼玉地区の皆様こんにちは。わたしはこの度、茨城地区

石岡教会から三区の加須教会に赴任しました舟生康雄です。埼玉地区総会の日、三月二十日に引越して来ました。三階建ての教会・牧師館にもようやく慣れました。妻と二人で暮らしています。

埼玉県に住むのはわたしにとつて初めての経験です。神学校を卒業してから、東京、新潟、茨城と移り住んで来ましたが、

埼玉県は大都會のようでもあり、田んぼや畑が広がっている所もあちこちにあつて、不思議な気がします。神さまが「今度はこの土地で伝道しなさい」とおっしゃっているのだと、だんだん深い思いが湧いてきました。

埼玉地区では大勢の教職と信徒の方々のご活躍になつているので、これからの出会いを楽しみにしています。

報告

教会音楽講習会報告

大宮教会 勝野 昌子

埼玉県教会音楽委員会では、年間テーマを「礼拝で使われる楽器」「オルガンをもつと知ろう」としました。

毎週の礼拝や集会で活躍しているオルガンは楽器として知られているようで案外、構造や特徴までは知らないのが実際のところではないでしょうか。そこで、リードオルガンの構造や特徴を学ぶということテーマに、六月九日(土)大宮教会で講習会を開き、四十四名の出席がありました。



講師には長野・須坂教会会員の和久井輝夫氏をお迎えしました。氏は現在、リードオルガン修復と調律、又、国内の歴史的リードオルガンの修復にも力を入れている方です。日本でのリードオルガンの歴史、構造のお話につき、解体が始まり



ました。目の前で細かい部品に分解されていく時、演奏する方もしない方も出席者全員目がくぎづけになりました。空気を吸い込み、リードを振動させ、音を鳴らすという基本の構造

に加えて、音色の変化、音の強弱等々、様々な役割を持った部品が音楽性豊かな音をつくり出していく要素となっている事を実感させられました。演奏者には実際の構造を見たことで、これからのひき方が深められていく事でしょう。

当日の出席者からの質問の多くは音がうまく出ないオルガンの修理についてでした。現在、多くの教会で壊れて使用されないままのオルガンがあること、又それを何とか使用できるようにしたいと切実な思いをいただいている方達がおられることを知りました。リード等の簡単な修理の仕方も教えていただきました。それでも、短時間で身につけることは難しく、再度の講習を希望する声も聞かれました。これを機にリードオルガンの豊かな音色が多くの教会で響きますように。

埼玉地区、青年の集い

川越教会 鄭貴燦

四月三十日、川越教会にて青年の集いが行われました。参加した青年は七人、さらに教師として山岡創牧師、森淑子牧師が参加され、途中から木ノ内一雄牧師と和美夫人も加わりました。

バーベキューではどんな材料を買おうか迷ったりもしましたが、食事では参加者の方々と楽しむことができました。

バーベキューの後の小礼拝では、森牧師による説教で食事の「効用」について語られたのが印象的でした。聖書には食事の描写が少なくないのは、食事が最高の交わりの手段であり、信仰と密接に結びついているという話でした。

その後の分かち合いでは、先ほどの小礼拝のことや礼拝などで普段思っていることなど、お互いの信仰について、本音で話し合うことができました。

参加した青年の数は多くなかったものの、非常に充実した集いだったと思います。

埼玉地区婦人部総会報告

東京聖書学校吉川教会 大熊眞弓

四月一六日に大宮教会にて、

四十教会・伝道所・集会所、九十四名の出席で総会が開催されました。開会礼拝にて桶川伝道所の高橋悦子先生より『神のみこころに一致する』というメッセージを頂き、二〇一一年度活動報告・会計報告、また二〇一二年度活動計画・予算が、活発な意見交換のもとに承認可決されました。

特に活発な意見交換がなされたのは、『対外献金をどのよう

に、どこに捧げることが良いのか?』という点に対してでした。東日本大震災が地をゆるがし、今まで当たり前であると思っていた物や事柄をゆるがしています。このこともその一つです。いろいろな施設、伝道

所等へ地区婦人部が捧げるといふことは、その一つ一つの団体を思い、その働きが守り進められるように祈り、その結果として献金を献げるといふことが、意見交換を通じて、参加された婦人の方々に新たに認識し直されました。神様のみこころに一致していけるよう地区の婦人の皆様と共に今年度も歩んで参りたいと存じます。

第十一回 I T 祭り

越谷教会 豊川昭夫

二〇一二年六月十七日(日)埼玉新生教会を会場に、第十一回 I T 祭りを開催しました。

今回は、聖パウロ女子修道院会員で女子パウロ会のホームページ担当者小尾(こお)朋子氏をお迎えして、「メディア伝道の可能性を探る(パート2)」の演題で講演をしていただきました。内容は、大きく分けて「①カトリックのメディアを使っての宣教の歴史」についてと「②女子パウロ会のホームページの実情」についてでした。

驚いたことに、カトリックのメディア変遷の話では、今迄に、新聞・週刊誌・映画・レコード・放送、そしてインターネットと多岐にわたるメディアを駆使して宣教がなされてきました。教皇庁のホームページも、既に一九九七年には開設されていたのです。

女子パウロ会のホームページは、「インターネットで日本におけるキリスト教のポータルサイト(案内係)となることを目指す」というコンセプトのもとに開設されました。今年三月からは、スマートフォン



の対応も済み、ブログやフェイスブックも利用しています。電子出版も出ており、実際に積極的に新しいメディアを利用して伝道がされています。

講演の内容はホームページからお聴きになれます。

講演後、休憩をはさんで埼玉地区内教会のホームページの現状と題して、東所沢教会、鴻巣教会、埼玉通り教会、越谷教会の担当者にお話しをして頂きました。各教会とも、少ない人数でも知恵を出し合いながら、教会ホームページ作成の向上を目指して頑張っています。最後に、参加者全員の集合写真を撮って散会しました。

今回は、わたしたちプロテスタント教会の「伝道」の面で大いに刺激となり、多くの示唆を頂きました。地区伝道委員会の後援も頂き、例年より多く、四十一名・十一教会の参加でした。(ホームページ委員)



(地区婦人部 書記)

「新会堂ができました」

初雁教会 町田さとみ

『主御自身が建ててくださいるのでなければ 家を建てる人の労苦はむなし。』(詩一二七編一節)』

私たち初雁教会の会堂と牧師館建築のために、多くの方々にお祈りとご協力を頂き、心から感謝をいたします。

「会堂建築とは、教会形成である」と言われます。会堂建築



を通して、教会は育てられるというのを知りました。

初雁教会の新会堂建築への願いは、二十年來のものでした。「はつかりビジョン21」という、明日の教会の構想を掲げ、そのビジョンの中のひとつに「会堂建築」がありました。

幾つもの教会を見学させて頂き、具体的に自分たちの教会の構想を練ること数年。それと共に建築献金を開始し、献金が集まるとマスを埋めていくという絵を作成し、励んでささげました。

けれども、表の道路につながる間口が狭いために、建築基準法にそぐわず、思い描いていた会堂も牧師館も建てられないことが分かったのです。そこで計画は急展開、その法にかなう改築工事(リフォーム)へと導かれたのです。

二〇一二年には、教会創立八十周年を迎えます。その記念の年に新会堂をいと、教会が心を一つにして祈り、牧師館・会堂建築に当たりました。

そして二〇一二年六月十七日、教会堂完成の喜びと共に、献堂式を執り行いました。

献堂式当日は梅雨の真っ只中にもかかわらず、献堂式の時には明るい青空が広がります。



した。「天候をお守りください」との私たちの祈りを遙かに超えて、神様が祝福をくださいました。ハレルヤ!

改めて、私たちが出来ることは何と小さく、神様のなさることとは偉大なことかと思えます。会堂建築は大きな課題です。けれど、神様から与えられた課題を教会全体が祈って越えさせて頂いた時に、教会の信仰の糧となりました。

『主御自身が建ててくださいる』教会堂での聖なる礼拝によって整えられ、創られながら、これから益々神様の栄光の現れる教会となるように励んで参ります。

教師一泊研修会報告

鳩山伝道所 藍田 修

教師一泊研修会が七月九(十日月火)、川島貞雄先生(元東洋英和女学院大学教授)を講師に迎え、別所沼会館で、三十五名の参加者をもって開催されました。主題は「初代教会の宣教に学ぶーペトロとパウロー」。

講演は、ペトロとパウロがライバル関係にありながらもエキュメニカルを踏まえた教会の一致のために伝道に努力し続けたこと、そして、この伝道における緊張の中で的一致を初代教会の歴史を通して共に考え、今日の教会の伝道への示唆を与えられたという視点を持って進められた。

一日目は、開会礼拝後、講演Iおよび質疑応答、その後、桜井義也牧師(北川辺)と法克聖親牧師(深谷)より発題があり、夕食後、四分団に分かれ、講演・発題を振り返ってお互いに話を広げ、深め、疑問を出し合った。二日目は、早天礼拝、朝食後、講演IIおよび質疑応答、ディスカッション(分団の報告)と続いた。 両日を通して、初代教会の生き生きとした姿に触れた思いが、刺激的であった。

地区壮年部講演会報告

越谷教会 荻田久次郎

「今こそ、『つながり』の時 共に苦しみ、共に喜ぶ」 六月十七(日)於・大宮教会 出席 九教会 三十名

竜ヶ崎教会飯塚拓也牧師をお招きし、関東教区総会副議長の立場で被災地区教会と付属施設をつぶさに調査し、作成されたスライド写真にて、被害状況を報告された。まさに被災地からの現地報告と訴えだった。

被災教会の復興計画にとつての課題は資金計画にある。教団の東日本大震災救援募金(十億円)の配分要綱によると支援希望額の五十%を支給の用途とし、残りの五十%は教団よりの借入金で、被災教会は将来返済が必要だ。この返済が重荷となり被災教会に復興計画を躊躇させている。十億円募金が目標を達成し支援希望額に対して一〇〇%応えられるように祈り、働き求めて行きたい。

関東教区は被災教区であるがゆえに、より一層他の被災教区との『つながり』を強め、残された多くの課題に取り組みで行きたい。飯塚先生の講演を通して、主にある連帯と絆を覚えて閉会した。(壮年部委員)

中村忠明牧師を偲んで

飯能教会 土橋 誠



六月二十五日、中村眞牧師

(埼玉新生)より父親である

忠明牧師が逝去されたとのご連絡をいただきました。九十六

歳のご生涯でした。地区委員長として、私が中村忠明牧師の葬儀の司式を務めさせていただき

しましたが、そのことにより、忠明牧師の伝道一筋な思いを伺うことができたことは幸いなことでした。

ご逝去される一週間前、病院にお見舞いに伺ったときは会話も交わせられ、「(地区の)皆さんによるしくお伝えください」とお話しされました。

忠明牧師は開戦直前の一四一年、東神大の前身である神学校に入学しました。生まれつき病弱のため徴用工として敗戦を迎え、直後の一四六六年三月に神学校を卒業し、大宮の社会福祉施設からの求人をも機に、旧大宮市で開拓伝道を始められ、当時大宮教会の幼稚園で保育者をしていただお連れ合いとなる志げ子夫人と出会い、結婚されました。お二人は、教会と

幼稚園の設立という目標を立て、夜は街頭に出て大提灯を掲げ、コルネットを吹き、太鼓を鳴らして路傍伝道に励まれました。

そして、最初の洗礼者が与えられたのは一九四六年九月でした。忠明牧師夫妻の生活は貧しく、コップパン一つ買うお金もなかったほどでした。

「大宮新生教会」の命名は、神による人間の新生と戦後日本の新生を願ったものでした。

教会堂と幼稚園舎を建てるために、忠明牧師は募金活動を始め、お連れ合いを自転車の荷台に乗せ、東は越谷、西は飯能、南は川口、北は熊谷まで出かけ、色々な業種の方に募金を求められました。教会の周囲からは「まだ教会堂建築を始める時期ではない」と強い反対を受けたとのことですが、忠明牧師は神から受けた使命だからと言って、労し続け、最初の教会堂は一九五〇年に完成しています。

その後、三度も教会堂と園舎建築を行い、場所も大宮から旧与野の現在地に移り、「埼玉新生教会」となりました。

二十歳で洗礼を受け、三十歳で教師になり、九十六歳まで埼玉新生教会の牧師として歩み

続け、今年の三月に隠退されるまで六十六年間、埼玉地区でご奉仕下さったことに感謝の言葉は尽きません。

そのような忠明牧師の歩みを振り返ったとき、時代が違うとは言え、主にあつて夢中になること、何ひとつ自分の物とする財産を持つことなく伝道に心を傾けられたことは、現代に生きる私たちキリスト者としての歩みに一石を投じています。そして、このようにして主が忠明牧師の一生を用いられ、主の栄光を現わされたことに感謝をささげたく存じます。

最後に、ご家族の皆様、埼玉新生教会の皆様、主の慰めが豊かにありますようにとお祈り申し上げます。ハレルヤ、アーメン。

長橋晴子先生を偲んで

浦和別所教会 山田 称子



長橋晴子先生との出会いは、先生が東京聖書学校で聴

講されたことからはじまります。その後、二年次に編入し、小平のご自宅から長時間をかけた

の通学でした。学舎に入られる前には大病を患っていたため、体力的に続くかと心配されていたようです。この大病の時も、治療をしながら幼稚園の園長を全うされました。

神学生としての学びと訓練も大勢の信仰の友の祈りに支えられて、昨年三月に卒業の日を迎えられました。

日野原記念上尾栄光教会への赴任は、教会員の方々の篤き祈りが神様のみ心として応えられた結晶でありました。しかし、卒業前に伝道者として立つべきか悩まれ、祈りの中にいと聞きましました。人の思いが様々に働き、年齢的に不安もあつたことでしょう。信徒伝道者としても、十分に主に従って歩まれてきた日々でありました。

その祈りの結果、「主のみ心であるならば」と、献身者として主に従って行くことを決意されました。

神様は、なおそこで「わたしに従いなさい」と長橋晴子先生を遣わされたのです。その神様のご計画は、思いもよらないものでした。

先生の発病は、三月上旬から始まっていたそうです。視力の低下によって、日々の生活も苦慮しているとの連絡が三月末

にありました。この時点では、病気の原因がわかり、治療さえすれば癒されると信じ、教会では篤き祈りが捧げられ、私も祈りつつ必ずや癒されると信じました。

神様は長橋晴子先生を伝道者として立て、主の働き人として召し出された。良き忠実なしもべとして立てられました。しかし、その務めの期間はあまりにも短く、何故ですか？ 問うことしか今は出来ません。神様からの答えは、私たちにとつて納得がいくかないではなく、そのすべての中に主なる神の思いがあると言われるのでしょうか。

神に召し出され従った晴子先生は、伝道者としてのヴィジョンを教会の方々と共に進めて行こうとされていきました。そのヴィジョンは今後、教会の皆さんに担っていただく事を切望し、祈念しています。

長橋晴子伝道師は六月二十三日逝去され、六月二十七日前夜式、六月二十八日告別式が行われました。

地区委員会報告

●二〇一二年度第一回委員会

日時 三月二〇日(木)
会場 大宮教会
出席 十一名 陪席 四名

【主な協議事項】(敬称略)

◇地区総会の件

地区総会補助書記、五十嵐実季(飯能)、塚本洋子(東松山)の陪席のもと、二〇一二年度地区総会諸報告の承認と決定事項の確認を行った。

◇地区委員の役割分担の件

委員長 土橋誠(飯能)
副委員長 中村眞(埼玉新生)、書記 都築英夫(秩父)、会計 結城恭子(大宮)、補助書記 豊川昭夫(越谷)、補助会計 三井田忠昭(岩槻)

【委員会・部会担当】

・伝道 山ノ下恭二(東大宮)、豊川昭夫
・教育 布村伸一(熊谷)
・社会 土橋誠
・教師 山田称子(浦和別所)
・地区通信 三井田忠昭、中村眞
・ホームページ 中村眞、金田佐久子(西川口)、豊川昭夫
・修養会 金田佐久子、山田称子
・災害対応 豊川昭夫
・壮年部 小岩晃(上尾合同)

・婦人部 結城恭子
・青年部 布村伸一
・障教懇 豊川昭夫
・教会音楽 山ノ下恭二
・埼玉宗連、同宗連 飯野敏明

【本庄・委嘱】

・川越少年刑務所教誨師 山岡創「坂戸いずみ・委嘱」
・カルト問題 白石多美出「春日部・委嘱」

◇関東教会総会設営の件

関東教会より「教区総会の設営に関して埼玉地区に他地区より多めに担当して欲しい」との要望を受け、三年に一度の順番で(埼玉・他地区・他地区)引き受けると返答することに決定。

●二〇一二年度第二回委員会

日時 五月十八日(火)
会場 埼玉新生教会
出席 十一名

【主な報告】

◇委員長報告

*教会・教師の情報
・辞任

中村忠明(埼玉新生)、深見祥弘(東所沢)、篠原愛義(鴻巣)、浦部牧子(加須)、高田輝樹(大宮)、五十嵐実季(飯能)、石橋秀雄(東松山・代務)、塚本洋子(東松山)、秋山徹(本)

・庄旭・代務
・解任 谷脇正紀(草加)
・就任

野村忠規(東松山) 就任式六月十日、指方周平(東所沢) 就任式六月二十四日、塚本洋子(鴻巣)、舟生康雄(加須)、江田めぐみ(三芳)、竹内紹一郎(本庄旭・代務)、田中かおる(草加・代務)

・献堂式
初雁教会 六月十七日
長橋晴子伝道師(日野原記念上尾栄光教会) が入院中

*関東教会常置委員会報告がなされ、関東教会総会設営は埼玉地区が三年に一度の順番で行う。

◇三月、四月の会計報告。
◇各委員会・各部報告

【主な協議事項】

◇地区総会付託議案の件
・地区会計監査選任 町田さとみ(初雁)、佐久間文雄兄(志木)

・地区総会議事録承認
・次回総会会場、日程 二〇一三年三月二〇日(水)

・会場候補は上尾合同教会
◇地区委員会主催集会の件
・新年合同礼拝は、二〇一三年一月十四日(月)、最寄り区毎に行う。開催計画は教師委員会に委ねる。

・地区総会協議会は、二〇一三年二月八日(金)、埼玉新生教会で行う。

・伝道所・集会所との懇談会は、二〇一二年十一月十三日、埼玉新生教会で行う。

◇地区委員会日程会場の件
第三回七月十日(火)、第四回九月十四日(金)、第五回十一月十三日(火)、第六回一月二十一日(火)、第七回二月十九日(火)、会場は全て埼玉新生教会、時間は午後五時より。

◇地区委嘱状の件
例年通り、地区月報八月号に掲載する「埼玉地区各委員会・各部名簿」をもって委嘱状に代える。

◇地区総会受付当番等の件
・土橋、中村、都築、山ノ下、布村、山田、金田、三井田の八名が受付を担当。

・総会資料を教区事務所から会場までの搬入担当は中村。

◇その他の件
・地区委員の担当・役割分担のうち、障教懇の担当を豊川より小岩に変更。

・ホームページ委員会より提案された「地区通信」のホームページへの掲載を承認。

編集後記

埼玉地区総会が大宮教会で開催され、今年度の活動方針、予算等を承認して、五十九教会・伝道所は新しい年度も共に、「主にある交わりを深める」地区となっていくことを確認いたしました。

六月、当地区で六十六年の長い間牧会をされた中村忠明教師と、伝道師就任後わずか十五ヵ月だった長橋晴子教師の葬送が同じ時期に執り行われました。両先生により、地区のために多くの働きが、また豊かに信仰の種が蒔かれたことを改めて感謝いたします。

新任の江田めぐみ教師(三方芳)、他地区・他地区からの指方周平教師(東所沢)、野村忠規教師(東松山)、舟生康雄教師(加須)、地区内異動の塚本洋子教師(鴻巣) に自己紹介をいただきました。

今号は特集を休止させていただきますでしたが、次号よりキリスト教関係学校の紹介を連載していきます。(三井田)

訂正

前号(四〇―三三)の「婦人部だより」婦人部委員長挨拶中、「二万円」は「十万円」の誤りでした。訂正致します。